



入賞作品

## 80年前の桐タンスをよみがえる思い出のタンス

私が中学3年に進級した昭和32年、近くの役場から出火して5軒ほど焼けるという大火がありました。タンスを家の近くの田んぼまで運んでいた時、タンスの開き戸の部分やその他引出しの金具やタンスも全体的に傷んでしまいました。父親が残してくれたタンスをそのまま使用しておりましたが丁度6年前頃に福岡で九州家具展示会があり、家具業者に相談をもちかけたところ、大川の桐里工房さんから綺麗に80年前のタンスに蘇らせる事が出来ますとの話を拝聴し女房とも相談し、リフォームして戴くことに決め、対馬から船便にて発送致しました。丁度私も自宅を増改築する事にしました。私たちも大川の工場に向きタンスの出来栄えを見て綺麗に完成している事に感動致しました。自宅の増改築も終わり、リフォームしたタンスを運んで来て戴き床の間がある和室の畳の間に据え付けて戴きました。このタンスは公共放送のテレビで2回放映されたとの事です。80年前の名品の桐タンスが蘇り、我が家の誇りであります。これからは親から子に、孫にと大事に引き継いで行きたいと思えます。

長崎県 増田廣喜さん

(修理店) 桐里工房